

感染症ミニレター

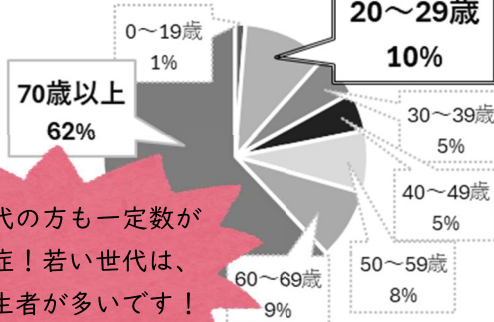
編集/発行 令和7年11月20日
兵庫県伊丹健康福祉事務所
(保健所) 健康管理課

～日本もようやく低蔓延国入りしましたが、まだまだ要注意です～ TEL 072-785-2371
FAX 072-777-4091

今でも年間1万人以上が結核を発症しています！！

結核新登録患者の年齢別割合(2024)

結核新登録者総数 10,086 名



若い世代の方も一定数が結核発症！若い世代は、外国出生者が多いです！

伊丹・川西・猪名川で2024年に結核に感染していると診断された方48名のうち、外国出生患者は15名(31%)でした！そのほとんどが20代で、入職時健診で判明しています。

～職場でできる5つのこと～結核予防会より

- Action ① 雇い入れ時の健康診断の実施
- Action ② 定期健康診断での胸部X線検査の実施
- Action ③ 精密検査が必要な者のフォローアップ
- Action ④ 体調不良者の発見と受診・相談体制の整備
- Action ⑤ 免疫力を高める生活環境づくり

Action①～④の重要性を再確認した事例紹介

患者 A 氏：20 歳代。女性。アジア某国出身の技能実習生。日本語勉強中。

入職時健診、異常なし。 → Action ①

X 月 職場健診で要精密検査の判定。結果が返ってくるも日本語がわからず、内容を確認せず仕事を続ける。

→ Action ②, ③に関連

X+8 月 咳が出現し、病院を受診したいが…
結局、受診はせず、咳止めの飴で対応。

→ Action ③, ④に関連

X+10 月 咳が止まらなくなり、血痰も出現。職場の同僚が見かねて、呼吸器内科へ受診付き添い。

胸部 X 線検査を受け、結核疑い。喀痰検査実施し、排菌を確認。肺結核と診断。

周囲へ感染性のある結核のため、入院し、治療開始。

その後、保健所から接触者調査が行われた結果、スタッフへの健診が行われ、スタッフ数十名の結核感染が判明。スタッフは受診後、予防内服開始。

X+12 月 A 氏退院。退院後は、同僚の受診サポートや保健師の服薬確認を受けつつ、治療継続。診断から6か月経過し、治療終了となった。

対策について、
詳しくはこちらから↓

「結核を広げない！
職場でできる結核対策」
結核予防会ページ



A 氏「どの病院に行けば良いかわからない…。仕事を休んだら辞めさせられるかも…。お金もないし…。不安。」

発見が遅れると、
周囲へ広げる可能性
も高くなります。
Action①～④は
とても大切です！



有症状時は早めに受診し、健診にて要精密検査判定となった方には必ず受診してもらうよう徹底をお願いします！